

ごあいさつ



本校は昭和22年4月1日、新しい教育制度によって開校されました。当時は東小学校校舎と沓掛向上会館を借用して発足しましたが町民の教育に対する情熱は高く、昭和23年には文部省より全国で2番目のモデルスクールの指定を受け、昭和24年この地に独立校舎が建築され、昭和44・45年に現在の校舎に改築されました。

校舎は教育環境と自然に恵まれた軽井沢町の中心部に地域の方々のご協力と期待を担い建設され、今年で64年を迎えるに至りました。この間、軽井沢町と地域の皆様の厚い教育に対する願いとご支援、歴代学校長の教育愛に根ざした教育理念と教職員のひたむきな教育実践により、多くの軽井沢中学校卒業生がこの学び舎を巣立ち社会の各方面で活躍され、軽井沢中学校の名を高めております。また、この先輩たちが培い、築いた伝統と歴史を受け継ぎ勉学に励んでいる在校生は今年度510名おります。

本校の目指す教育は「軽井沢の心」に象徴されますが、それは「自らを逞しく鍛える生徒」「心豊かに生きる生徒」「自ら求めて学ぶ生徒」が育つことを目標としたものであります。毎朝校門から見上げる浅間山の勇姿はまさに理想の姿そのものであると心を新たにする日々ですが、浅間山を心のふるさととするばかりでなく、たくましさ、豊かさ、主体性など我々のあり方を「浅間山に学ぶ」とし教育活動の柱としております。そのことは、先輩たちが長い年月をかけ、不屈の心で築いた伝統だからこそ、現在の私たちの学校生活の中に息づき、私たちの誇りとなり、進むべき道の指針となっております。生徒一人一人が自分の体験や経験をもとに自己実現をはかり、生きる力を育むものと信じています。

知力と体力にあふれ、心身ともたくましい、心豊かな生徒の育成を目指した教育活動を充実させるためには、家庭・地域との連携や幼保小高との連携が不可欠であります。地域で育ち地域で生きていく生徒の確かな成長を願って、家庭・地域・諸機関のご協力をいただき教育活動を推進していきたいと思っております。

学校長 松本文一